

渉外委員会

(1) 委員会構成メンバー

委員長	水野 一成	副委員長	長縄 未来	幹事	富田 晃代
委員	浅井 真吾	委員	上山 範恭	委員	次井 裕治
委員	村瀬 久資				

(2) 委員会開催報告

				開催数 16回	出席率 61%
内 訳	年 月 日	場 所	出席者	内 容	
第 1 回	22. 9. 30	小樽食堂 長久手店	4 名	委員会基本方針、事業計画、卒業予定者支援、渉外業務及び出向者支援、理事長所信 会員拡大	
第 2 回	22. 10. 2	和食麵処サガミ日進店	4 名	委員会基本方針、事業計画、卒業予定者支援、渉外業務及び出向者支援、理事長所信 会員拡大	
第 3 回	22. 11. 28	和食麵処サガミ日進店	4 名	委員会基本方針、事業計画、卒業予定者支援、渉外業務及び出向者支援、2011 年度スローガン 会員拡大	
第 4 回	22. 12. 10	和食麵処サガミ日進店	4 名	委員会基本方針、事業計画、卒業予定者支援、青年の船とうかい号、対外事業 会員拡大	
第 5 回	23. 1. 27	有限会社ユーシン	4 名	京都会議報告、2 月度例会、渉外業務及び出向者支援 会員拡大	
第 6 回	23. 2. 20	有限会社ユーシン	4 名	2 月度例会決算、青年の船とうかい号、渉外業務及び出向者支援、卒業予定者支援 会員拡大	
第 7 回	23. 3. 1	有限会社ユーシン	4 名	2 月度例会決算、青年の船とうかい号、渉外業務及び出向者支援、卒業予定者支援 会員拡大	
第 8 回	23. 4. 28	有限会社ユーシン	4 名	2 月度例会決算、青年の船とうかい号、西三河 10 JC 及び今後の対外事業、会員拡大	
第 9 回	23. 5. 27	有限会社ユーシン	4 名	2 月度例会決算、青年の船とうかい号、西三河 10 JC 及び今後の対外事業、会員拡大	
第 10 回	23. 6. 11	有限会社ユーシン	4 名	2 月度例会決算、青年の船とうかい号、西三河 10 JC 及び今後の対外事業、会員拡大	
第 11 回	23. 7. 19	有限会社ユーシン	5 名	2 月度例会決算、青年の船とうかい号決算、西三河 10 JC 及び今後の対外事業、会員拡大	
第 12 回	23. 8. 29	旬 錦店	4 名	2 月度例会決算、青年の船とうかい号決算、西三河 10 JC 及び今後の対外事業、会員拡大	
第 13 回	23. 9. 14	旬 錦店	4 名	2 月度例会決算、青年の船とうかい号決算、西三河 10 JC 及び今後の対外事業、会員拡大 第 60 回全国会員大会	
第 14 回	23. 10. 4	旬 錦店	4 名	青年の船とうかい号決算、今後の対外事業、会員拡大	
第 15 回	23. 11. 1	旬 錦店	4 名	青年の船とうかい号決算、今後の対外事業、会員拡大	
第 16 回	23. 12. 26	旬 錦店	7 名	1 年間の反省	

(3) 予算収支決算報告 (単位：円)

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
事業費	270,000	270,000	渉外事業及び出向者支援	10,000	5,520
			2月度例会	20,000	17,100
			青年の船支援事業	200,000	108,580
			卒業予定者支援	40,000	37,800
			事業費剰余金		101,000
合計	270,000	270,000	合計	270,000	270,000

(4) 事業報告

1. 渉外事業及び出向者支援：2011年1月～2011年12月 理事長の渉外業務補佐を行いました。対外事業の情報を迅速に受発信することで、多くの方に対外事業に参加して頂けた。出向者の方々には出向者報告をして頂き、出向者報告書を提出して頂いた。
2. 慶弔業務：慶弔ごとの取りまとめをして、各支部と協力の上、迅速に業務をおこなった。
3. 青年の船支援事業：2011年1月～2011年6月 一般乗船者 清水慎之君 メンバー乗船者 公益社団法人日本青年会議所 東海地区協議会 監査担当役員 服部恭士君 のぼりや垂れ幕を使用し効果的に乗船者を支援することができた。乗船者の募集・乗船者に対する支援を行い、報告会の開催をした。
4. 卒業予定者支援事業：2011年1月～2011年12月 卒業生支援として法被を作成し、卒業生の思い出作りを支援した。
5. 2月度例会：2月11日(土) 場所 名古屋国際会議場 出席者数：JC会員 52名 出席者合計 38名 出席率73% テーマ「対外事業の魅力を感じよう」 対外事業に参加する例会を行い、LOMメンバーの参加の動機付けとなる機会となり、対外事業の魅力を知っていただける事業となった。
6. 会員拡大：メンバーで協力し、一人がひとりを目標に拡大を行ったが、拡大には至らなかった。
7. 第60回全国会員大会：迅速に情報収集及び発信を行い、副主管LOMとして、LOMメンバーが積極的に参加、協力できるように支援した。

(5) まとめ(結果・評価)

<p>本年度渉外委員会は、LOMの渉外業務を円滑に行えるよう努めて参りました。</p> <p>慶弔業務では、取りまとめを行い、各支部と協力して行いました。</p> <p>2月度例会では「対外事業の魅力を感じよう」をテーマに名古屋会議に出席をしました。名古屋会議終了後に行った3分間スピーチについては、メンバーから名古屋会議に参加して感じた熱い想いを話して頂きました。例会の内容は例会実施時間が大変長くメンバー全員がすべてに参加することは難しいものとなりましたが、参加していただいたメンバーには対外事業の魅力を感じていただける例会となったと思います。</p> <p>渉外事業及び出向者支援では、理事長の渉外業務補佐を行うと共に、対外事業の情報を受発信し、メンバーに対外事業へ参加して頂きました。各出向者が所属する委員会の公開委員会にもメンバーで参加をする事により各出向者に対して支援することが出来ました。反省点は、委員会内での連絡を円滑に行うことができず、メンバーの方にご迷惑をおかけしてしまうことがあったことです。そういった際にメンバーのご協力を頂くことができ、1年間無事に終えることが出来ました。ありがとうございました。</p> <p>青年の船支援事業では、乗船して頂いた一般乗船者1名の方に、安心して活動して頂ける様支援し、今後の活動の糧にして頂く事が出来ました。</p> <p>卒業予定者支援では、卒業生10名に法被を作成し、卒業生の方に青年会議所活動の思い出となるよう支援する事業計画を立てました。法被の制作が遅れ、卒業生の方への支援を十分に行うことができず、申し訳ありませんでした。</p> <p>会員拡大については委員会メンバーが協力し一人がひとりを目標に活動しましたが、結果として拡大まで至りませんでした。責任を果たせなかった事を深く反省します。</p> <p>第60回全国会員大会では、副主管LOMとして全国会員大会に参加しました。多くのメンバーにご協力していただき、アイシルフェスタ、地域活性化から市、卒業式を迎えることが出来ました。</p> <p>最後に、渉外委員会としての業務、活動、事業を行って来ましたが、LOMメンバー皆様のご協力により1年間無事に活動する事が出来ました。本当にありがとうございました。</p>
--